

# 展示資料館前花壇における コキアの栽培

大矢祐一郎

コキアは主に葉を觀賞するヒユ科の一年草である。夏のふわふわとした球形の草姿や、真っ赤に染まる秋の紅葉が人気の植物で、各地の観光農園などでは大規模な植栽が見られ、来場者の目を楽しませている。このように知名度がある植物でありながら、当園内では地植えのコキアを楽しめる植栽エリアが無かった。コキアは管理の手間も少なく、觀賞期間が長期間におよぶことから展示資料館へのアプローチを飾る植栽として適していると思われた。本稿では、2022年に展示資料館前花壇においてコキアを植栽した際の生育状況を報告する。

コキアの生育状況・作業内容を表に示す。4月17日に72穴セルトレイに播種し、5月23日に定植した。7月から8月までの緑葉の時期にかけて順調に生育し、草丈1mほどの特徴的な草姿を楽しむことが出来た(図A)。9月に発生した台風での強風による倒伏が予想されたが、建物が風よけになったためか大きな被害はなかった。9月上旬の残暑が厳しいなかで紅葉が始まったが個体により紅葉し始める時期にばらつきがあった(図B)。早くに紅葉し始めた株は他の株が色付くのを待たず早期に紅葉が終わった。10月上旬には紅葉が終わり枯れ姿となった。10月26日に抜き取り撤去を行い、抜き取ったコキアに着色して「クリスマスを飾るフラワー展」のオーナメントとして利用した。

今年の生育状況を振り返ると、夏の緑葉の時

期までは姿良く楽しむことが出来たが、秋の時期は真っ赤に染まるコキア本来の魅力を引き出しきれなかったように思われる。特に入園者が多い「秋のグリーンフェア」の時期に紅葉を楽しむためには播種時期が早かった可能性がある。播種時期を1か月ほど遅らせた5月下旬から6月上旬にするなど、作型の検討が求められる。



図 コキアの生育状況 (A) 緑葉の時期の様子。8月16日撮影。(B) 半数ほどが紅葉し始めた時期の様子。9月3日撮影。

表 展示資料館前花壇におけるコキアの栽培状況

日付	生育状況・作業内容
4月17日	72穴セルトレイにたねまき培土(タキイ種苗株式会社)を充填し合計で108セルに播種した。
4月20日	発芽し始めた。
5月2日	本葉展開。間引きを行った。
5月7日・15日	3号ポットにポット上げ(計60株)
5月23日	資料館前花壇に33株を定植した(株間60cm)。植付前にバーク堆肥・カルエース・マグアンプK(中粒)を施し耕耘した。
6月9日・22日	中耕除草
7月23日	緑葉の姿を楽しめた。6月から8月にかけて緑葉の見頃だった。
8月28日	一部の株が赤く色付き始めていた。
9月3日	紅葉し始めた株と緑葉の株が半数ずつ混在していた。
9月20日	9月3日に紅葉していた株は紅葉が終わり、茶色い葉が目立ち始めた。
10月9日	紅葉が終わり枯れ姿となった。
10月26日	抜き取り撤去を行った。抜き取った株はクリスマスを飾るフラワー展のオーナメントとして使用した。